

【5月24日（月）放送朝礼のお話】

全校のみなさん、おはようございます。今日の朝礼から、児童会のみなさんが進行をしてくれます。草平小学校の「顔」として、コロナ禍での朝礼を工夫して進めていってほしいと思います。

先週の金曜日の登校時間には、とても強い雨が降り、多くのみなさんが靴や洋服が濡れてしまいました。今年は、例年よりも早く梅雨入りし、これは観測が始まってから2番目の早さだったそうです。これからも、登下校の時に大雨が降ることがあると思います。雨がたくさん降ると、雨や傘にあたる雨の音などで、周りの音が聞こえにくくなり、車が近づいていることにも気づきにくくなります。また、傘やカッパで視界が狭くなり、道路の状況が見づらくなります。いつも以上に気を付けて登下校をしてくださいね。

今日は、「あいさつ」についてお話をします。先生は、ほぼ毎朝西門の信号のところで登校指導をしています。そして、信号を渡すときに、「おはようございます」とあいさつをします。草平小学校のみなさんにだけでなく、自転車で通る中学生や高校生、大人の人にもあいさつをします。大きな声であいさつを返してくれる人がいます。はにかみながら小さい声で返してくれる人もいます。先生は、朝からとてもすがすがしい気持ちになります。

でも、黙って行ってしまう人もいます。先生はあいさつを返してもらうためにあいさつをしている訳ではありませんが、少し残念な気持ちになります。

「あいさつって、どんな意味があるのだろう」と思い、あいさつについて調べてみました。あいさつの意味には、いろいろな考え方があるようです。その中で先生がピンときたものを3つ挙げます。

1つ目は、あいさつという言葉の語源からの解釈で、あいさつをすることで、「わたしはあなたに心を開きますよ」と相手に伝える意味があるそうです。人と人との関わりの最初のきっかけともいえます。ということは、あいさつをすることで、たくさんの人との関わりが広がると思います。

2つ目は、あいさつによって「あなたは大切な人ですよ」と伝え、お互いがお互いのおかげで生きていることに感謝するのだそうです。

3つ目は、あいさつをすることで、その人の心やからだが今どういう状態にあるかを知って、相手とよりよい関係を作っていくための手段になるのだそうです。

そう考えると、「おはよう」「こんにちは」等の簡単なあいさつには、たくさんの意味があるのだということが分かりますね。先生は草平小学校のみなさんに、「先生はみなさんのことを大切に思っていますよ」「今日も一日、元気で学校生活を送りましょうね!」という気持ちを伝えるためにあいさつをしているような気がします。

あいさつを返してもらうためにあいさつをしているのではないと言いましたが、それでもあいさつを返してもらうと、とても良い気持ちになります。将来社会に出て多くの人と関わっていくときにも、あいさつはとても大切になってくると思います。

あいさつは、してもされても気持ちの良いものです。雨の日も、晴れの日も、一日が元気なあいさつの声で始まる、そんな草平小学校になれるといいなあと思います。

新型コロナウイルスの感染拡大が止まらない状況ですが、一人一人が「手洗い」「マスク」「ソーシャルディスタンス」を意識して、感染拡大防止に努めながら一週間を過ごしましょう。

これで先生のお話を終わります。